

日本原子力研究所東海研究所TRACY施設の計画外停止について

原子力規制室

平成16年10月26日

1. 事業所

日本原子力研究所 東海研究所

2. 原子力施設

(1) 名称 TRACY施設(過渡臨界実験装置)

(2) 主要仕様 定格出力：10kW 過渡出力運転時：5,000MW

3. 発生日月

平成16年6月17日

4. 件名

TRACY施設の計画外停止

5. 事象内容

施設定期自主検査において、過渡出力運転を行うため調整トランジェント棒を瞬時に引き抜いたところ、16時10分、3本の安全棒のうち1本(安全棒A)が落下する誤動作が発生したことから、運転継続を阻止するインターロックが作動し、原子炉が停止した。

安全棒が誤作動した原因は、本年1月に実施された安全棒の分解、点検、組立において用いたポリエチレンシートの小片が安全棒A本体と電磁石との接触部分に挟み込まれたことにより安全棒保持力が低下し、過渡出力運転により生じた炉心タンク圧力変動が外力として安全棒Aに作用したため、安全棒が電磁石から外れたことによるもの。

なお、事業所内外において放射性物質の影響はなかった。

6. 評価結果及び判断根拠(平成16年6月17日)

(1) 基準1：-

(判断根拠：事業所外における放射性物質の影響はなく評価に関係しない)

(2) 基準2：-

(判断根拠：事業所内における放射性物質の影響はなく評価に関係しない)

(3) 基準3：レベル0

判断根拠：本事象における原子炉運転継続阻止インターロックの作動は、通常の原子炉自動停止シーケンスであり、明らかに安全上の重要性がない事象である。また、評価レベルを一つあげる付加的要因はない。従って、レベル0と判断される。

(4) 評価結果 暫定値

レベル0(尺度以下)

[基準1：-、基準2：-、基準3：レベル0]